資　料　4

芦屋市都市政策部都市基盤室道路・公園課

道路・公園課事前調査報告

このたび、芦屋市自転車駐車場の指定管理者制度外部評価委員会に先立ち、事前に監査法人による財務調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

１　施設概要

所　在　地：芦屋市精道町９３番１　他

指定管理者：サイカパーキング株式会社

所　管　課：都市政策部都市基盤室道路・公園課

実　施　日：令和８年８月１０日（月）

２　調査結果

別紙「調査結果報告書」のとおり

調 査 結 果 報 告 書

令和８年８月３１日

芦屋市長 髙島 崚輔 殿

菅原正明公認会計士・税理士事務所

業務責任者
公認会計士　　菅　原　正　明

芦屋市（以下、「市」という。）からの依頼に基づき、弊所は令和７年度にサイカパーキング株式会社（以下、「サイカパーキング」という。）が行った芦屋市自転車駐車場全１２施設（以下、「駐輪場等」という。）の指定管理業務に関連して下記手続を実施した。

１　実施した手続の範囲

弊所の実施した次の手続は、本報告書に添付されている駐輪場等に関する令和７年度の「管理業務の実施に係る収支状況（以下、「収支状況」という。）」を対象とし、市により令和８年１０月９日に開催される外部評価委員会が、指定管理者及び施設所管課における駐輪場等の管理運営を評価するに際し利用されるためにのみ実施したものである。

２　実施手続

弊所は、業務委託仕様書に基づく以下の調査手続を実施した。

（ア）　駐輪場等の令和７年度の収支状況に記載された各勘定科目金額について、サイカパーキングから提示のあった令和７年度の残高試算表と突合する。合致しない場合には、差異の金額を手続の実施結果の記述において明示する。

（イ）　駐輪場等の令和７年度の収支状況に記載された各勘定科目金額が、サイカパーキングの指定管理業務以外の業務と明瞭に区別されているか否かをサイカパーキングへの質問により確かめる。質問により得た回答は実施結果の記述において明示する。

（ウ）　駐輪場等の令和７年度の収支状況のうち「利用料金収入」、「自主事業収入」、「人件費」、「その他支出」について、サイカパーキングの総勘定元帳と突合する。合致しない場合には、差異の金額を手続の実施結果の記述において明示する。

（エ）　駐輪場等の令和７年度の収支状況に記載された各勘定科目金額のうち市と合意した「利用料金収入(時間貸し売上、定期売上)」、「人件費（給与等、社会保険料等）」、「その他支出（光熱水費、委託費、修繕費、消耗品費）」について、質的または金額的重要性を考慮のうえ取引を抽出し、サイカパーキングから提示を受けた関連証憑との突合を行い、日付、金額、相手先及び内容の一致を確かめる。合致しない場合には、差異の内容を手続の実施結果の記述において明示する。

（オ）　サイカパーキングが管理する備品台帳から市と合意した物品等（無作為に選定）を抽出し、現物確認を実施する。合致しない場合には、差異の内容を手続の実施結果の記述において明示する。なお、今年度は JR 芦屋駅北自転車駐車場および JR 芦屋駅南自転車駐車場１０(サイカパーク芦屋駐輪場含む)のみでの手続実施である。

３　実施結果

実施手続(ア)から(オ)に示した手続を実施した結果は、次のとおりである。

（ア）　サイカパーキングは税抜経理であるため、収支状況に合わせて税込金額で再集計した資料として提示を受けた令和７年度の残高試算表と、令和７年度の収支状況に記載された各勘定科目金額を比較した。その結果以下の通り差額が認められた。

収入合計：

収支状況 126,255,440 円、残高試算表 126,538,204 円、差額 ▲282,764 円

支出合計(但し、減価償却費、一般管理費、公課費、前受金分は除く)：

収支状況 105,647,776 円、残高試算表 106,570,415 円、差額 ▲922,639 円

（一般管理費、公課費(の過半を占める未払消費税)、前受金は残高試算表上に計上が無いため、上記集計から除外している。）

因みに当該差額の要因としては、税込金額への調整時に非課税分について、誤って消費税を上乗せした影響が大きい、との回答を得た。

（イ）　駐輪場等の令和７年度の収支状況に記載された各勘定科目金額が、サイカパーキングの会計システムにおいてどのように算出されているかを質問により確かめた。確認の結果、サイカパーキングは記帳の際、施設ごとにコード番号を設定しており、駐輪場等の業務に係る収入・支出について仕訳起票時に現場コードも同時に設定することで、他施設に係る収入・支出と区分しているとのことであった。

「一般管理費」は施設管理業務に横断的に関連するいわゆる本社経費を現場コード毎に按分したもので、按分基準は売上金額等一定の基準に基づいているとの説明を受けた。

「公課費」には、元帳上で租税公課として処理されている取引の他に、当事業に関する未払消費税分も含んでいるとの説明を受けた。

以上により、収支状況に記載された各勘定科目金額が、サイカパーキングの指定管理業務以外の業務と明瞭に区別されていることを確認した。

（ウ）　駐輪場等の令和７年度の収支状況のうち「利用料金収入」、「自主事業収入」、「人件費」、「その他支出」について、令和７年度の総勘定元帳データの残高と突合した。

手続の結果、「人件費」の「給与等」、「その他支出」の「消耗品費」、「修繕費」及び「委託費」にて差額が認められた。「給与等」については年度中に会計処理方針が変更となったことによるもの、「消耗品費」、「修繕費」については収支状況作成時に科目の振替をおこなったことによるもの、「委託費」については記帳時に消費税の課税支出である項目を非課税にて誤登録をしたことによるもの、との説明を受けた。(収支状況に記載された金額が実態に沿った金額との説明を受けた。)

(エ)　駐輪場等の令和７年度の総勘定元帳データから無作為に抽出した取引に関し、サイカパーキングから提示を受けた関連証憑との突合を実施した。突合にあたっては主に該当取引に関する日付、金額、相手先及び内容について、総勘定元帳に記載された内容との整合性に留意した。

突合の結果、取引の実態が適切に総勘定元帳に記録されていることを確認した。なお結果の詳細は、別添資料①を参照されたい。

(オ)　指定管理者所有の「備品台帳」から市と合意した物品等を抽出し、現物確認を実施した。

確認の結果、いずれも実在していることを確認した。なお、結果の詳細は別添資料②を参照されたい。

４　調査の過程で気付いた事項

（１）　実施手続(ウ)および(エ)において、会計システムへの仕訳登録および仕訳登録に必要な証憑管理といった個別の業務処理においては、一定程度適切な水準で運用されていることを確認した。一方で、それらの会計情報を収支状況の科目体系に合わせて再集計するといった会計情報の取りまとめ・集計面での運用が不透明であり、実施結果(ウ)で示したように確認機能が十分に働いていない状況も見受けられた。

当業務は拠点も多く、また JR 芦屋駅南側での再開発に伴う調整等が発生し、管理・監督に係る業務が煩雑で多岐に渡ることが推察される状況ではあるものの、今後は収支状況を作成するための会計情報の集約・整理作業において、複数名による相互確認を実施する等の取組に努められることが望まれる。

（２）　実施手続(オ)において、各拠点で取り扱っている備品点数が少ないこともあり、各拠点における備品の状態の把握については、概ね適切に運用されていることを確認した。しかしながら、一部の備品に管理用ラベルシールの未貼付のものが認められ、運用面においては改善の余地があると思われる。

５　指定管理者の決算推移

サイカパーキングの貸借対照表及び損益計算書の２期推移（令和６年度～令和７年度）は以下のとおりである。

【貸借対照表】　（単位：千円）

項目	令和６年度	令和７年度
流動資産（①）	1,764,249	2,026,432
うち現金預金	998,070	1,314,017
固定資産	1,479,018	1,594,469
資産合計（②）	3,243,267	3,620,901
流動負債（③）	1,965,683	2,113,064
固定負債	552,009	662,442
負債合計	2,517,692	2,775,506
純資産の部（④）	725,575	845,395
流動比率(①÷③)	89.8%	95.9%
純資産比率(④÷②)	22.4%	23.3%

［補足］

・決算書には指定管理業務に伴って発生した資産負債を含んでいる。

【損益計算書】　（単位：千円）

項目	令和６年度	令和７年度
売上高（①）	7,629,996	7,890,348
売上原価	6,720,377	6,863,028
売上総利益	909,619	1,027,320
販売費及び一般管理費	777,862	859,221
営業利益（②）	131,757	168,099
営業外収益	50,294	55,294
営業外費用	10,272	11,040
経常利益	171,778	212,353
特別利益	4,723	4,193
特別損失	40,579	15,572
税引前当期純利益	135,922	200,975
法人税等合計	12,384	73,655
当期純利益（③）	123,538	127,320
営業利益率（②÷①）	1.7%	2.1%
純利益率（③÷①）	1.6%	1.6%

［補足］

・決算書には指定管理業務に伴って発生した収支を含んでいる。

６　実施手続の特質

上記手続は、財務諸表に対する監査意見又はレビューの結論の報告を目的とした一般に公正妥当と認められる監査の基準又はレビューの基準に準拠するものではない。したがって、弊所は、駐輪場等に関する令和７年度の収支状況についていかなる結論の報告も、また保証も提供しない。もし、弊所が一般に公正妥当と認められる監査の基準若しくはレビューの基準に準拠して財務諸表の監査若しくはレビューを行うか、又は手続の範囲を更に拡大した場合、追加的に報告すべき事項が発見される可能性がある。

また、本手続に際して提供された会計帳簿その他経営管理資料等については、その個々の正確性、網羅性及び真正性についての検証手続は実施しておらず、これらの情報を正確かつ完全なものとして利用している。本調査において報告した事項をどのように判断するか、および、収集した情報に基づきどのような意思決定を行うかについては、市の責任においてなされるものである。

なお、本報告書は市により令和８年１０月９日に開催される外部評価委員会が、指定管理者及び施設所管課における駐輪場等の管理運営を評価するに際し利用されるために作成されたものであり、他のいかなる目的にも使用してはならず、市以外への配付もしてはならない。

市と弊所又は業務責任者との間には、公認会計士法の規定に準じて記載すべき利害関係はない。

以上

別添資料①

実績表（総勘定元帳）					関連証憑	
勘定科目	日付	金額(円)	相手先	内容	名称	結果
時間貸し売上	2025年9月 2025年11月	1,245,520 1,504,000	－	JR芦屋北 阪神芦屋南	収納金額表 通帳等	一致
定期売上	2025年6月 2026年1月	518,316 874,500	－	ｷｬｯｼｭﾚｽ決済 阪神芦屋南	振込明細、 按分表、 月報	一致
その他売上	2025年6月	615,430	JR 芦屋北 ラポルテ会	利用客割引分 請求	請求書	一致
給与(基本給、 時間外手当)	2025年5月	6,956,385 103,788	従業員	給与	賃金台帳	一致
賞与	2025年11月	120,000	従業員	2025年11月 賞与	賃金台帳	一致
福利厚生費	2025年4月	121,931	㈱ﾋﾞﾌﾞｽﾄﾞｯﾄｼﾞｪｰﾋﾟｰ	ビブス代他	請求書	一致
光熱水費／ 電気代	2026年1月	831 32,685 57,910	関西電力㈱	2025年12月 電気代	領収 通知書	一致
光熱水費	2026年1月	236,990	東洋ﾃｯｸ ﾋﾞﾙｻｰﾋﾞｽ㈱	2026年1月 ﾗﾎﾟﾙﾃ北館901 光熱水費	請求書	一致
光熱水費／ 水道代	2026年1月	6,292	芦屋市水道局	2025年10,11月 JR芦屋南、ﾘｭﾐｴｰﾙ芦屋水道代	領収 通知書	一致
消耗品費	2025年10月	599,500	ﾔｼｷﾌﾟﾘﾝﾄ㈱	回数券代	請求書	一致
修繕費	2025年8月	534,600	㈱OSS	南月若駐輪場 ﾗｯｸ更新修繕代	請求書	一致
修繕費	2026年3月	344,300	㈱デンケン	阪神芦屋南 LTE 対応費用	請求書	一致
支払手数料	2025年5月	10,560	㈱みなと銀行	硬貨入金手数 料 16 件分	領収書	一致
業務委託費	2026年2月	165,000	ALSOK 兵庫㈱	JR 芦屋駅北 施錠巡回業務	請求書	一致
業務委託費	2026年2月	85,613	㈱丸与	廃棄物処理費	請求書	一致

別添資料②

備品番号	場所	名称	数量	確認結果
No.2-1	JR芦屋駅北	パソコンDELLlatitude3540	１台	実在した
No.2-3	JR芦屋駅北	ラベルプリンターｻﾄｰLespritVex	１台	実在した（※１）
No.2-4	JR芦屋駅北	FAX Panasonic KX-PD315-S	１台	実在した
No.2-6	JR芦屋駅北	AED ASAHIKASEI ZOLLplus	１台	実在した
No.2-7	JR芦屋駅北	大型扇風機 BigFan 301-W	１台	実在した
No.2-10	JR芦屋駅北	電子レンジ HITACHI MR-A330	１台	実在した
No.2-11	JR芦屋駅北	天井埋込エアコン DAIKIN	１台	実在した
No.2-12	JR芦屋駅北	冷蔵庫 SANYO SR208AS	１台	実在した
No.2-13	JR芦屋駅北	金庫 Sentry Safe	１台	実在した
No.2-15	JR芦屋駅北	書類ケース	１台	実在した
No.2-16	JR芦屋駅北	スタンド看板	２台	実在した
No.2-17	JR芦屋駅北	掛け時計 ｶｼｵ計算機IQ-481J-8JF	１台	実在した
No.2-18	JR芦屋駅北	カーボンヒーター CB-M925NR	１台	実在した
No.2-20	JR芦屋駅北	更衣ロッカー	１台	実在した
No.3-1	JR芦屋駅南	パソコンDELLlatitude3540	１台	実在した
No.3-2	JR芦屋駅南	プリンター CANON TS6330	１台	実在した
No.3-4	JR芦屋駅南	FAX Panasonic KX-PD2603-W	１台	実在した（※２）
No.3-5	JR芦屋駅南	電動空気入れ NIKKENAS-100	１台	実在した
No.3-8	JR芦屋駅南	ｵﾌｨｽﾁｪｱｰ YAMAZEN NYT860	１台	実在した
No.3-9	JR芦屋駅南	電動給湯ポット TIGER VE	１台	実在した
No.3-10	JR芦屋駅南	金庫 Sentry Safe	１台	実在した
No.3-13	JR芦屋駅南	ｻｲﾄﾞｷｬﾋﾞﾈｯﾄ JO1FA331	２台	実在した
No.3-14	JR芦屋駅南	ﾘﾓｰﾄ監視ﾓﾆﾀｰ DEGIEVER KA22HQ	１台	実在した
No.3-1（重要）	JR芦屋駅南	定期更新機 DGS-100RN	１台	実在した
No.3-2（重要）	JR芦屋駅南	料金精算機 DR-7000	１台	実在した
No.3-3（重要）	JR芦屋駅南	料金精算機 DR-7000	１台	実在した

※１： 未使用状態のため、倉庫に保管されていた。
※２： 資産管理用のラベルシールが貼付けされていなかった。